

やったネ!

心電図検定1級合格

医療従事者にとって心電図を判読することは重要性が高く、正確に判読するには洞察力と多くの経験、訓練が必要となります。私自身も正直始めは心電図を読むのが苦手でした。しかし、患者さんを通して心電図に触れる中でもっと判読できるようになりたいと感じるようになり、ある程度心電図の判読ができるようになりましたが、その正確性についてはどこか不安がありました。そこで知ったのが、日本不整脈心電学会が開催している心電図検定でした。初めて受験した2019年夏に2級に合格しました。合格することで自信も付き、さらに上の級を目指し、今年1月に心電図検定1級を受験しました。1級は心電図の高度な判読力を有するもので、合格者は循環器専門医や、心電図に深く精通したメディカルプロフェッショナル

ルが多数を占めています。今年の1級受験者数は1421名で合格率は54.5%でした。船田統括診療部長を始め、サポートして頂いた方々のおかげで無事合格することができました。

現在、私は外来で勤務しています。救急車で搬送された方の対応をすることもあり、異常を見逃さないよう判読力を活かして日々の診療介助に努めていきたいと思えます。また、心電図検定は「心電図にかかわる多くの知識を普及させ、我が国の医療の質の向上につながる活動を支援すること」を検定の目的としています。心電図に興味のある方、苦手だから自信を付けた方など心電図に興味を持って検定を受ける方が増えるように勉強会など出来ることを通して支援していきたいと思えます。

外来 副看護師長 八木 忍

